学年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高２ 総合進学	国語	現代文研究	精選現代文Ｂ　（東京書籍）	下記参照

1. 授業のねらい

１年次の学習をもとに，「読むこと」を中心により深め，それとともに，「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れることで，適切に思考・表現する力と的確に理解する力を育成し，すべての学習・社会生活・人間関係を支える言語的基礎力と学ぶ力の背景となる多面的なものの見方を養う。

2. 授業のすすめ方

各自で読めない漢字の確認と，分からない語句の意味調べの予習をし，丁寧に意味をたどりながら作品を事前に読んでいることを前提として授業を進める。文脈の理解が正確にできたかを発問などを通して常に授業で確認していく。文章を読み解くための基礎知識の確認と定着，そして，応用力を身につけることを意識したうえで授業に臨むこと。教材の内容に応じて，理解を深めるために電子黒板やタブレットを利用する。タブレットを使用してコメントや解答の提出を求めることがある。

3. 学習上の留意点

・この教科書は２年間継続使用する。紛失しないよう十分に注意すること。２年生ではⅠ部を学習する。
・教科書をじっくり読み，予習を十分にして内容を把握したうえで授業に臨むことが大前提である。
・現代文は，すべての学習・人間生活の基礎となる科目なので，その自覚をもって積極的に授業参加して欲しい。
・教材に応じて適宜，タブレットを利用し，課題を配信する。出された課題は忘れずに提出すること。

4. 副教材・参考文献

・『新国語総合ガイド』（京都書房）
１年次より継続使用で便覧・資料集として授業で活用する。国語の基本的な知識が体系的に解説されており，自学自習用として用いることもできる。現代文・古典共通の教材で，３年間継続使用する。
・『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』
３年間継続使用する。大学入試の自学自習用として使用する。また，漢字小テストも実施する。
・『錬成現代文』
現代文の基本的な学力の充実を目的としている。また，小論文対策として，書くことが苦にならないようにするために使用するものである。定期考査の範囲，長期休暇に課題として使用する。

5. 評価の視点・テスト・課題等

定期考査，小テスト，提出物等で判断する。
・定期考査（授業内容を理解しているか，応用力がついているか）
＝１００点満点で，年5回実施。
・小テスト（漢字や語彙の基本を身につけているか）
＝範囲および実施日については，事前に告知する。平常点の資料とする。
・平常点＝１・２学期は各２０点，３学期は１０点。

6. 定期考査

教科書の内容を中心に出題し，応用問題も出題する予定。（下記予定は状況によって多少の変動もありうる。）
○ 第１学期中間考査　…　評論，詩歌，『錬成現代文』，『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』，応用問題
○ 第１学期期末考査　…　詩歌，小説，『錬成現代文』，『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』，応用問題
○ 第２学期中間考査　…　評論，小説，『錬成現代文』，『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』，応用問題
○ 第２学期期末考査　…　評論，小説，『錬成現代文』，『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』，応用問題
○ 第３学期期末考査　…　評論，小説，『錬成現代文』，『大学入試に出た 核心漢字２５００＋語彙１０００』，応用問題

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	評論 タイトルから本文に書かれる芸術について筆者の意図を考える。論の展開に沿って、筆者の主張をまとめる。 詩歌 朗読，黙読を繰り返し，リズムや語感を味わう。詩・短歌・俳句の形式と技法を理解し，それぞれの特徴を学び，理解を深める。 小説 作品の主題を読み取り，人間存在の内奥について考える。 ※日本大学文芸コンクール課題図書の紹介 ※詩・短歌・俳句の創作について	素点・評価点…定期考査の成績 平　常　点 ・小テストの成績 ・提出物の評価	・対比されている内容を整理しつつ、筆者の芸術観を理解する。 ・評論で頻出する用語について意味を正確に理解する。 ・リズムとイメージを喚起させ，言葉の持つ多義的なイメージや意味の広がりを知る。 ・小説を視点・語り・文体などさまざまな観点から理解する。
二学期	九月 十月 十一月	評論 文章の構成・論理展開を正確におさえることで，人間の在り方を解き明かしていく筆者の論旨を正しく理解する。 小説 小説を読み，そこに描かれている現代的テーマや表現の特徴を理解する。 評論 筆者の主張を読み取り，世界観や人間観を理解し，それに対する自分の意見をもつ。	素点・評価点…定期考査の成績 平　常　点 ・小テストの成績 ・提出物の評価	・人間存在を言語・文化・認知など様々な視点から理解する。 ・登場人物の行動や心理をその表現を通して追いながら，人間の在り方について考える。 ・論の流れに注意し，文章構成をつかみ，全体像を的確に把握する。
三学期	一月 二月 三月	評論 筆者の考えを文章の論理的展開をたどることで理解し，文章の提起する問題について考える。 小説 小説における描写と説明を正確に読み取り，小説の読解方法について理解を深める。	素点・評価点…定期考査の成績 平　常　点 ・小テストの成績 ・提出物の評価	・筆者の問題意識や主張を把握するためのアプローチの方法の理解を深める。 ・小説の表現方法や技法を的確にとらえ，作品が読者に伝えてくるものを把握する。

※シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。